

→p.24

〈きほんのたしかめ〉 (1) ア…6

(2) ア…3, イ…2

〈練習〉 (1) ア…6, イ…9, ウ…9

(2) ア…9, イ…3, ウ…0

(3) ア…1, イ…1, ウ…2

(4) ア…4, イ…3, ウ…7

〈力をつける(1)〉 (1) ア…4, イ…5

(2) ア…5, イ…4

〈力をつける(2)〉 ア…4, イ…5, ウ…6,

エ…2, オ…8

かいせつ

〈きほんのたしかめ〉 下の位の計算でくり上がりやくり下がりがなく、かくにんしてから計算する。

(1)
$$\begin{array}{r} 3 \square 5 \\ + 4 2 8 \\ \hline 7 9 3 \end{array}$$
 一の位の $5+8=13$ に注意。
 $\square+2+1=9$ より、 $\square=6$

(2)
$$\begin{array}{r} 6 \square 3 \\ - \square 3 4 \\ \hline 3 9 9 \end{array}$$
 一の位は $13-4=9$ だから、
 くり下がりに注意。
 $(\square-1)-3=9$ より、
 $\square=13$ だから、 $\square=3$
 十の位の計算のくり下がり考えて、
 $(6-1)-\square=3$ より、 $\square=2$

〈練習〉 計算できないところは、くり下がりがやくり上がりがあると計算する。

(1)
$$\begin{array}{r} 6 \square 3 \\ + 3 2 \square \\ \hline \square 9 2 \end{array}$$
 くり上がりに注意して、
 $3+\square=12$ より、 $\square=9$
 $\square+2+1=9$ より、 $\square=6$
 $6+3=\square$ より、 $\square=9$

(2)
$$\begin{array}{r} 4 \square 5 \\ + \square 3 \square \\ \hline 8 2 5 \end{array}$$
 $5+\square=5$ より、 $\square=0$
 $\square+3=2$ はできないから、
 $\square+3=12$ より、 $\square=9$
 1 くり上がるから、
 $4+\square+1=8$ より、 $\square=3$

(3)
$$\begin{array}{r} 6 \square 3 \\ - 3 2 \square \\ \hline \square 9 2 \end{array}$$
 $3-\square=2$ より、 $\square=1$
 $\square-2=9$ より、
 $\square=11$ だから、 $\square=1$
 $(6-1)-3=\square$ より、
 $\square=2$

(4)
$$\begin{array}{r} 8 \square 2 \\ - \square 1 \square \\ \hline 5 2 5 \end{array}$$
 $2-\square=5$ はできないから、
 $12-\square=5$ より、 $\square=7$
 $(\square-1)-1=2$ より、
 $\square=4$
 $8-\square=5$ より、 $\square=3$

〈力をつける(1)〉 同じ文字のところには、同じ数字が入ることに注意する。

(1)
$$\begin{array}{r} \square \square 9 \\ + \square 9 \square \\ \hline 9 \square \square \end{array}$$
 百の位で、 $\square+\square=9$ となるのは、
 十の位からくり上がりがあったときの $\square=4$ だけである。
 $9+\square=\square$ より、 $\square=5$

これは、 $(\square+1)+9=\square$ にあてはまる。
 (2)
$$\begin{array}{r} 9 \square \square \\ - \square 9 \square \\ \hline \square \square 9 \end{array}$$
 百の位で、 $9-\square=\square$ となるのは、
 十の位にくり下がったときの $\square=4$ だけである。
 $\square-\square=9$ はできないから、
 $14-\square=9$ より、 $\square=5$
 これは、 $(\square-1)-9=\square$ にくり下がりをする
 ことであてはまる。

〈力をつける(2)〉 のこりのカードは、2, 4, 5, 6, 8の5まいである。

$$\begin{array}{r} \square \square \square \\ - \square \square \square \\ \hline \square \square \square \end{array}$$
 百の位や十の位は、くり下がりを
 考えないといけないので、一の位
 から考える。

のこりのカードを使った $\square-\square$ の組み合わせは、5-8, 2-5 だけである。どちらも5が使われるので、百の位の $9-\square=3$ にあてはまるのは、 $\square=6$ となる。
 $\square=5$, $\square=8$ のとき、のこりのカードは、2, 4 である。くり下がり考えて、十の位の $(\square-1)-\square=1$ となる組み合わせは、 $\square=4$, $\square=2$ のときである。
 なお、 $\square=2$, $\square=5$ のときは、のこりのカードは、4, 8 となり、 $(\square-1)-\square=1$ にあてはまらない。

算数 小3

かいとう かいせつ 解答と解説

氏名

第1こうざ かけ算のきまり

- 〈かくにん〉 ㉞ 0 ㉟ 0 ㊱ 4
 ㊲ 8 ㊳ 3 ㊴ 6 ㊵ 2
 ㊶ 4 ㊷ 2

かくにん 確認問題

→p.2~p.3

- 1 (1) 式 $3 \times 2 = 6$ 答え 6点
 (2) 式 $1 \times 0 = 0$ 答え 0点
 (3) 式 $0 \times 8 = 0$ 答え 0点
 2 (1) 0 (2) 0
 (3) 0 (4) 0
 3 (1) 2 (2) 3
 (3) 4 (4) 6
 4 (1) 2 (2) 5
 (3) 7 (4) 4
 (5) 10 (6) 5
 5 (1) 3 (2) 2
 (3) 4 (4) 2
 6 (1) ① 14 ② 42
 (2) ① 14 ② 28 ③ 42
 (3) ① 30 ② 12 ③ 42

かいせつ

- 1 (入ったところの点数) \times (入った数) で、とく点をもとめることができる。
 (2) どんな数に0をかけても、答えは0。
 (3) 0にどんな数をかけても、答えは0。
 2 どんな数に0をかけても、0にどんな数をかけても、答えは0になる。
 3 (1), (2) かける数が1ふえると、答えはかけられる数だけ大きくなる。

かけられる数 かける数

$$2 \times 4 = 2 \times 3 + 2$$

 1ふえる かけられる数だけ大きくなる

- (3), (4) かける数が1へると、答えはかけられる数だけ小さくなる。

かけられる数 かける数

$$4 \times 5 = 4 \times 6 - 4$$

 1へる かけられる数だけ小さくなる

- 4 かけられる数とかける数を入れかえても、答えは同じになる。
 5 ()の中を先に計算する。3つの数のかけ算では、かけるじゅんじょをかえても、答えは同じになる。

練習問題

→p.4~p.5

- 1 (1) 0 (2) 0
 (3) 0 (4) 0
 (5) 30 (6) 80
 2 (1) 3 (2) 6
 (3) 4 (4) 7
 (5) 2 (6) 4
 (7) 7 (8) 8
 (9) 2 (10) 2
 3 (1) 4 (2) 3
 (3) 5 (4) 8
 4 ① 50 ② 15 ③ 65
 5 式 $12 \times 6 = 72$ 答え 72円
 6 式 $8 \times 3 = 24$ 答え 24本
 7 (1) 式 $6 \times 5 = 30$ 答え 30cm
 (2) 式 $30 - 2 = 28$ 答え 28cm
 8 (1) 式 $4 \times 9 = 36$ 答え 36こ
 (2) 式 $36 + 14 = 50$ 答え 50こ

かいせつ

- 1 (1)~(4) どんな数に0をかけても、また、0にどんな数をかけても、答えは0になる。
 (5) $3 \times 10 = 3 \times 9 + 3 = 30$
 (6) $10 \times 8 = 8 \times 10 = 8 \times 9 + 8 = 80$
 2 (1), (2) かける数が1ふえると、答えはかけられる数だけ大きくなる。
 (3), (4) かける数が1へると、答えはかけら



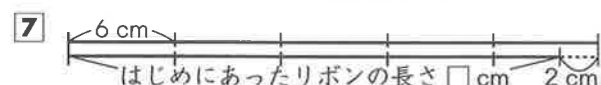
れる数だけ小さくなる。

(5)~(8) かけられる数とかける数を入れかえて計算しても、答えは同じになる。

(9), (10) 3つの数のかけ算では、かけるじゅんじょをかえても、答えは同じになる。

3 (1) 2のだんの九九をじゅんに考えて、答えを見つける。

(3) $\square \times 6 = 6 \times \square$ と考えると、6のだんの九九で答えを見つける。



(1) 6 cm ずつ切って、5本にするのにひつような長さは、 $6 \times 5 = 30$ で、30 cm。

(2) 30 cmに2 cm たりなかったので、 $30 - 2 = 28$ で、はじめにあったリボンの長さをもとめられる。

8 (1) 1つの箱に4こずつ、9つの箱に入れるので、 $4 \times 9 = 36$ で、36こ。

(2) はじめのケーキの数は、箱に入れたケーキの数とのこりのケーキの数をたせばもとめられる。

第2こうざ (2けたの数)÷(1けたの数)のわり算

(かくにん) ㉞ 20 ㉟ 4 ㊱ 4(わる数)

㊲ 6 ㊳ 2 ㊴ 9 ㊵ 0

㊶ 6 ㊷ 12 ㊸ 3 ㊹ 4

確認問題

→p.6~p.7

1 (1) 4 (2) 3 (3) 7 (4) 5

(5) 2 (6) 6

2 (1) 0 (2) 0 (3) 3 (4) 8

3 式 $18 \div 3 = 6$ 答え 6まい

4 式 $30 \div 6 = 5$ 答え 5 cm

5 式 $32 \div 4 = 8$ 答え 8人

6 (1) 式 $16 \div 2 = 8$ 答え 8倍

(2) 式 $27 \div 9 = 3$ 答え 3倍

7 式 $14 \div 2 = 7$ $7 - 3 = 4$

答え 4こ

8 式 $40 \div 5 = 8$ 答え 8本

かいせつ

1 わる数のだんの九九を使って、答えを見つける。

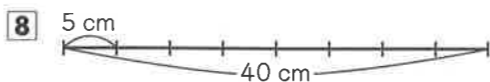
(1) $8 \div 2$ の答えは、 $2 \times \square = 8$ の□にあてはまる数である。

2 (1), (2) 0を、0でないどんな数でわっても、答えは0になる。

(3), (4) わる数が1のとき、答えは、わられる数と同じになる。

6 何倍かをもとめるときは、わり算を使う。

7 はじめに、1人分のあめの数をもとめる。次に、はるきさんは、そのうち3こを食べたので、のこっているあめの数を、ひき算でもとめる。



切った本数は、40 cmを5 cm ずつに分けたときの分けられた本数なので、わり算でもとめる。

練習問題

→p.8~p.9

1 (1) 9 (2) 8 (3) 6 (4) 9

(5) 7 (6) 5 (7) 8 (8) 6

(9) 6 (10) 8 (11) 0 (12) 9

2 式 $36 \div 9 = 4$ 答え 4さつ

3 式 $72 \div 8 = 9$ 答え 9つ

4 (1) 式 $8 \div 4 = 2$ 答え 2倍

(2) 式 $24 \div 4 = 6$ 答え 6倍

(3) 式 $24 \div 8 = 3$ 答え 3倍

5 式 $20 \div 5 = 4$ $4 + 2 = 6$

答え 6つ

6 式 $28 \div 7 = 4$ 答え 4ページ

7 式 $54 \div 6 = 9$ 答え 9まい

8 式 $2 + 3 = 5$ $25 \div 5 = 5$ 答え 5こ

かいせつ

1 わる数のだんの九九を使って、答えを見つける。

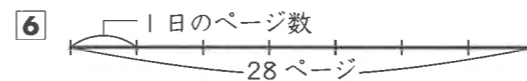
3 72 cmのテープを8 cm ずつに切ると、いくつに分けられるかをもとめればよい。

4 (1) 8 cmは4 cmの何倍かをもとめればよいので、式は $8 \div 4 = 2$ (倍)

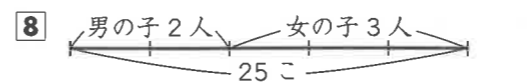
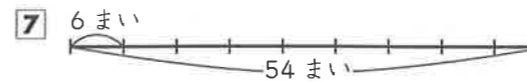
(2) 24 cmは4 cmの何倍かをもとめる。

(3) 24 cmは8 cmの何倍かをもとめる。

5 はじめに、花が入っている花びんの数をわり算でもとめる。次に、花びんはまだ2つあまっているので、全部の花びんの数をたし算でもとめる。



1日のページ数は、28ページを同じページ数ずつ7つに分けた1つになる。



男子と女子をあわせた人数で、あめの数をわれば、1人分の数をもとめられる。

第3こうざ 3けたや4けたの数のたし算とひき算

(かくにん) ㉞ 377 ㉟ 5750

㊱ 322 ㊲ 3475 ㊳ 40

㊴ 57 ㊵ 63 ㊶ 20

㊷ 25 ㊸ 16

確認問題

→p.10~p.11

1 (1) 689 (2) 898 (3) 775

(4) 809 (5) 671 (6) 825

(7) 9603 (8) 11000

2 (1) 722 (2) 923

(3) 10595 (4) 11461

3 (1) 553 (2) 402 (3) 214

(4) 291 (5) 239 (6) 627

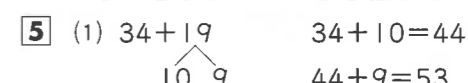
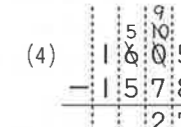
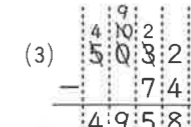
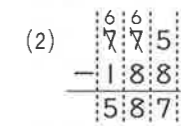
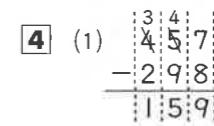
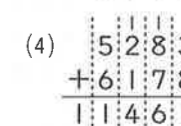
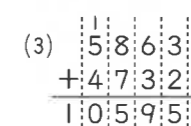
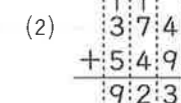
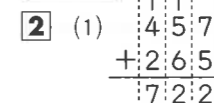
(7) 3404 (8) 1909

4 (1) 159 (2) 587

(3) 4958 (4) 27

5 (1) 53 (2) 15

かいせつ



第5こうざ 時こくと時間・大きい数

- 【かくにん】ア 1時間20分 イ 100
 ウ 2 エ 10 オ 150 カ 3
 キ 20 ク 50 ケ 1 コ 15
 コ 6 セ 320600215
 ケ 100520000 コ = ク <
 ケ 450 キ 20000 ク 36

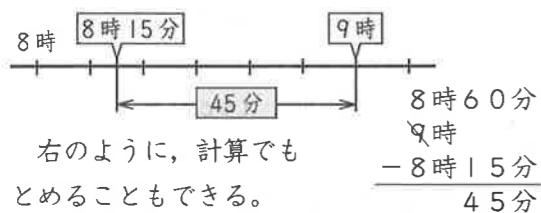
◆確認問題◆

→p.18~p.19

- 1 (1) 45分 (2) 50分 (3) 1時間45分
 (4) 40分
 2 (1) 100 (2) ①…1, ②…10
 (3) ①…1, ②…20 (4) 80
 3 (1) ①…1, ②…20 (2) 50
 (3) ①…1, ②…15 (4) 2 (5) 40
 (6) 45
 4 (1) 4 (2) 十万
 5 (1) ① 8 ② 5 ③ 一万
 (2) 80503
 6 (1) > (2) <
 7 ① 7100 ② 71000 ③ 71

【かいせつ】

- 1 (1) 数直線で考えると、次のようになる。



- 2 (1) 1分40秒 = 60秒 + 40秒 = 100秒
 (2) 70秒 = 60秒 + 10秒 = 1分10秒
 3 (1) 30秒 + 50秒 = 80秒 = 60秒 + 20秒 = 1分20秒
 (2) 1分30秒 - 40秒 = 90秒 - 40秒 = 50秒
 4 9:0034:0000 4けたで区切る。
 億: 万:
 6 けた数が多いほうが数は大きくなり、けた数が同じとき、左のけたからじゅんにくらべます。

◆練習問題◆

→p.20~p.21

- 1 (1) ①…2, ②…10 (2) 75
 2 (1) 午前4時30分 (2) 午後2時20分
 3 (1) 1時間45分 (2) 13時間20分
 4 (1) 3分30秒 (2) 40秒
 5 午前7時55分
 6 1時間40分
 7 ① 1億50万 ② 1億500万
 ③ 1億750万
 8 (1) 400300400 (2) 340390000
 9 (1) 22万 (2) 9900万 (3) 5億 (4) 3300万
 10 (1) < (2) >
 11 7000万円
 12 (1) いちばん大きい数…222111000
 いちばん小さい数…100011222
 (2) 100012212

【かいせつ】

- 2 (1) 5 80 (2) 10時35分

$$\begin{array}{r} 8時20分 \\ + 3時45分 \\ \hline 11時65分 \\ = 11時5分 \end{array}$$

 (3) 14 20
 14時は午後2時。

- 7 数直線は、9500万から1億の500万を10に分けているから、1めもりは50万。

- 11 180万を10倍すると、1800万。
 12万を100倍すると、1200万。
 代金は、1800万 + 1200万 = 3000万(円)
 1億は10000万なので、
 10000万 - 3000万 = 7000万(円)

- 12 (1) いちばん大きい数は、左から大きい数をならべた数なので、222111000
 いちばん小さい数は、左から小さい数をならべた数だが、いちばん左の位は0でないので、100011222
 (2) 左のけたが小さくなるように考える。

$$\begin{array}{r} 100011222 \\ 100021222 \\ 100012212 \end{array}$$
 2を左にずらし、1をすぐ右におく。

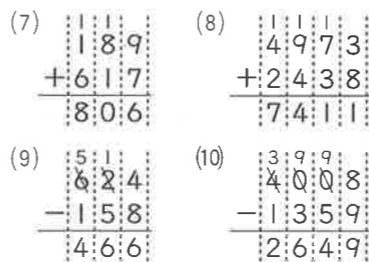
そろしあ 総仕上げテスト

→p.22~p.23

- 1 (1) 0 (2) 40 (3) 7 (4) 2
 (5) 6 (6) 9 (7) 806 (8) 7411
 (9) 466 (10) 2649
 2 (1) 2 (2) 8 (3) 2 (4) 72
 3 (1) ア…中心, イ…半径, ウ…直径, エ…2
 (2) ア…3, イ…十万, ウ…千
 4 (1) 式 24 ÷ 8 = 3 答え 3こ
 (2) 式 24 ÷ 6 = 4 答え 4人
 5 ① 8900万 ② 9500万
 ③ 1億300万
 6 4cm
 7 式 267 + 38 = 305
 267 + 305 = 572 答え 572こ

【かいせつ】

- 1 (1) どんな数に0をかけても、答えは0になる。
 (3)~(6) わる数のだんの九九を使って、答えを見つける。



- 2 (1) かける数が1ふえると、答えはかけられる数だけ大きくなる。
 (2) かける数が1へると、答えはかけられる数だけ小さくなる。
 (3) 120秒 = 60秒 + 60秒 = 2分
 (4) 1分12秒 = 60秒 + 12秒 = 72秒

- 3 (2) 4けたで区切る。

$$\begin{array}{r} 300408000 \\ \text{億: 万:千百十} \end{array}$$

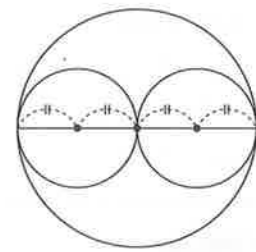
- 4 (1) 24こを8人で分けるので、
 24 ÷ 8 = 3
 1人あたり3こになる。

- (2) 24こを6こずつ分けるので、
 24 ÷ 6 = 4
 6こずつ4人に分けられる。

- 5 数直線は、9000万から1億の1000万を10に分けているので、1めもりは100万。
 ①は、9000万より1めもり(100万)小さいので、8900万。
 ②は、9000万より5めもり(500万)大きいので、9500万。
 ③は、1億より3めもり(300万)大きいので、1億300万。

- 6 大きい円の直径は、小さい円の半径が4つ分の長さである。

大きい円の直径 ÷ 4 = 16 ÷ 4 = 4



- よって、小さい円の半径は4cm
 7 3年2組が集めた牛にゆうパックの数は、
 267 + 38 = 305(こ)
 1組と2組をあわせた数は、
 267 + 305 = 572(こ)